



スピーチコンテスト規則集

2025年7月1日 から2026年6月30日

TOASTMASTERS INTERNATIONAL



Communicate Confidently®
toastmasters.org

©1987-2025 Toastmasters International. 不許複製・禁無断転載。 Toastmasters International、 Toastmasters International のロゴ、 およびその他すべての Toastmasters International の商標および著作権は、 Toastmasters International が独占所有権を保有しており、 許可なく使用することはできません。

目次

はじめに	4
スピーチ コンテスト規則	5
すべてのToastmastersスピーチ コンテスト向けの総則	5
国際スピーチコンテスト規則	19
論評コンテスト規則	21
ユーモア スピーチ コンテスト規則	22
テーブルトピックスコンテスト規則	22
ほら話コンテスト規則	22
オンラインスピーチコンテスト規則	22
スピーチ コンテスト チェックリスト	26
コンテスト委員長用チェックリスト	26
審査員長用チェックリスト	30
出場者用チェックリスト	31
スピーチコンテスト資料	33
追加リソース	36

This Japanese translation of 1171 Speech Contest Rulebook was prepared by an independent Translation and Review team consisting of Toastmasters International members on an unpaid volunteer basis. It has not been assessed by Toastmasters International World Headquarters. Toastmasters International World Headquarters is not responsible for quality, accuracy, errors, omissions, or any potential legal issues that may arise from use of these materials.

本書『1171 スピーチコンテストルールブック』の日本語翻訳は、トーストマスターズ・インターナショナルの会員による無償のボランティア活動として、独立した翻訳およびレビュー チームによって作成されました。本内容は、Toastmasters International 国際本部によって内容の確認または評価は行われていません。Toastmasters International 国際本部は、これらの資料の品質、正確性、誤り、記載漏れ、または使用に起因して生じる可能性のあるいかなる法的問題についても責任を負いません。

はじめに

スピーチ コンテストは、Toastmasters教育プログラムの重要な部分です。スピーチ コンテストは、トーストマスターがスピーチ体験を積む機会を提供するだけでなく、スピーチに秀でたトーストマスターを観察して学ぶ機会を提供します。

本書は、国際、論評、ユーモア、テーブル トピックス、ほら話、オンラインの各スピーチ コンテストを実施する際の規則および標準手順を記しています。スピーチコンテストの運営または出場に関わる方は、本規則をよく読み、遵守してください。規則を順守することで、公正なスピーチ コンテストを開催し、誰もが楽しめるイベントにすることができます。

本書は3部構成です。

- ▶ **スピーチコンテスト規則.** すべてのToastmastersスピーチ コンテストを規定する総則はもちろん、国際、論評、ユーモア、テーブル トピックス、ほら話、オンラインの各スピーチ コンテスト専用の規則も記載されています。
- ▶ **コンテストチェックリスト.** スピーチ コンテストを準備する際にコンテスト委員長、審査員長、および出場者に必要ないくつかの共通ステップを紹介します。
- ▶ **スピーチコンテスト資料および追加リソース.** Toastmasters スピーチコンテストに関するWeb ページ、およびその他の役に立つ資料の一覧です。

注：国際会長、次期国際会長、および最高執行責任者の承認の下、管理規定により1年に1回規則の変更が行われます。変更箇所は左の余白にマーク(◆)で示されます。

スピーチ コンテスト規則

すべてのToastmastersスピーチ コンテスト向けの総則

特別な記載がない限り、本規則は、トーストマスターズのクラブ、エリア、ディビジョン、ディストリクトが実施するすべてのスピーチコンテスト、および国際大会で実施されるすべてのコンテストに適用されます。

1. スピーチ コンテスト ポリシー

- ◆ A. Toastmasters International が公認し、サポートする公式スピーチコンテストは以下のとおりです。国際スピーチコンテスト、論評コンテスト、ユーモアスピーチコンテスト、テーブルトピックスコンテスト、ほら話コンテスト、オンラインスピーチコンテスト。その他のタイプのコンテスト、ショーケース等は、ディストリクト（エリアとディビジョンを含む）および暫定ディストリクト（エリアとディビジョンを含む）によって開催されないものとします。
 1. ディストリクト（エリアとディビジョンを含む）は、国際スピーチコンテストを開催しなければなりません。国際スピーチコンテストは英語のみで開催されなくてはなりません。
 - a) 暫定ディストリクト（エリアとディビジョンを含む）は、国際スピーチコンテスト規則を使用し、英語によるスピーチコンテストを開催することができます。本コンテストはディストリクトレベルを超えて実施されることはありません。国際スピーチコンテスト規則を使用するコンテストは、「暫定スピーチコンテスト」と題する必要があります。
 - ◆ 2. ディストリクト（エリアとディビジョンを含む）および暫定ディストリクト（エリアとディビジョンを含む）は、各年、追加の英語によるスピーチコンテストを3回まで開催することができます。ディストリクトディレクターは、どのコンテストを実施するか、またディストリクト・レベルのコンテストをどのイベント（年次ディストリクト大会または10月・11月のイベントなど）で行うかを推薦します。その推薦はプログラム年度の最初の会合におけるDEC（District Exective Committee）の承認を条件とします。
 - ◆ 3. ディストリクト（エリアとディビジョンを含む）および暫定ディストリクト（エリアとディビジョンを含む）は、各年、英語以外の言語によるスピーチコンテストを4回まで開催することができます。ディストリクトディレクターは、どのコンテストを実施するか、またディストリクト・レベルのコンテストをどのイベント（年次ディストリクト大会または10月・11月のイベントなど）で行うかを推薦します。その推薦はプログラム年度の最初の会合におけるDEC（District Exective Committee）の承認を条件とします。
 - a) これらのコンテストはそれぞれディストリクトディレクターによって選択され、DEC（District Exective Committee）により承認された言語で開催されます。
 - b) 英語以外のコンテストは任意であり、それに相当する英語のスピーチコンテストの規則を使用して実施しなければなりません。英語以外の言語

によるコンテストが国際スピーチコンテストの規則を用いて実施される場合参加資格を含め、すべての規則に従わなければなりません。

- c) 国際スピーチコンテストの規則を使用して開催する英語以外のコンテストにはその言語名を入れた題名を付けなくてはなりません。

例：中国語スピーチコンテスト。

- d) 英語以外のコンテストはディストリクトレベルを超えては続行されないものとします。

- e) ディストリクト（エリアとディビジョンを含む）は多言語によるスピーチコンテストを実施することはできません。

- ◆ B. ディストリクトはディストリクトレベルのスピーチコンテストを年次ディストリクト大会または10月・11月のイベントで行うことができます。ディストリクトレベルのスピーチコンテストは、年次ディストリクト大会で行われます。

- 1. ディストリクトは、対面のスピーチコンテストやイベントを開催しながらオンラインスピーチコンテストを実施する場合、出場者とコンテスト役員が完全にオンラインで参加できるよう、他の大会やイベントとは別の日にオンラインスピーチコンテストを予定することができます。ディストリクトレベルのオンラインスピーチコンテストは、10月から11月、または3月15日から6月1日の間に実施しなければいけません。

- C. コンテストはクラブレベルで開始され、エリア、ディビジョン、ディストリクトへと各レベルを進んでいく必要があります。この進行に従うコンテストのみが、エリア、ディビジョン、およびディストリクトレベルで許可されます。コンテストの言語、あるいはクラブの主要言語にかかわらず、すべてのクラブは、すべてのコンテストにおいて、出場者をエリアレベルへと進める資格があります。

- ◆ 1. 暫定ディストリクトが開催するコンテストはこれと同じように進行する必要があります。

- D. 国際大会において準決勝レベルまで勝ち進んだ国際スピーチコンテスト出場者各人の旅費は、Toastmasters International が負担します。旅費は、ディストリクトリーダーにおけるものと同様の方法で計算され、また同様の制限の対象となります。

- ◆ E. スピーチコンテスト規則集は規約であり、すべての公式トーストマスターズスピーチコンテストに適用されます。規則への変更は、管理規定検討プロセスに従う場合にのみ可能です。安全上の理由による例外は、最高経営責任者（CEO）の裁量により認められる場合があります。例外は認められません。

- F. コンテストへの個別入場料は、聴衆参加者およびコンテスト役員に対して請求することができます。ただし、出場者に対して、コンテストに出場するための料金を請求することは禁じます。クラブに対して、出場者をコンテストに送り出すための料金を請求することも禁じます。

2. 出場資格

- A. Toastmasters公式スピーチコンテストに出場する資格を得るためには、会員は以下の要件を満たさなければなりません。

- 1. 出場予定のコンテストが開催されるエリア、ディビジョン、ディストリクトにあるクラブに所属する会費納入済会員であること。

- a) クラブも会費納入済でなければなりません。

- b)新規会員、重複会員、および復帰会員は、会費と会員申込書を世界本部に提出している必要があります。
- 2.すべてのコンテストのすべてのレベルで出場資格を有すること。
- a)それ以前のレベルで出場者に出場資格がなかったということが、いずれかのレベルで判断された場合、失格となります。出場資格のない事が後のレベルで発覚した場合、それが 是正 済みであっても、失格となります。
- B. また、国際スピーチコンテストに出場する資格を得るためには、会員は以下の要件を満たさなければなりません。会員は 以下の要件を満たさなければなりません。
- 1.Toastmasters Pathways 学習経験にて、いずれかのコースのレベル1およびレベル2の修了証を取得している、またはディスティングイッシュトトーストマスター(DTM) 認定証を受けていること。
- a)クラブの設立認可を受けてからクラブコンテストの開催までの期間が1年未満のクラブの設立メンバーは、この要件を満たさなくても出場が許可されます。クラブは、エリアコンテストの開催前までに正式に設立認可を受けていなければなりません。
- C. 以下の方は、Toastmastersスピーチ コンテストに出場する資格を有しません。
- 1.現職の国際役員および国際ディレクター
 - 2.リージョン アドバイザーまたはリージョン アドバイザー応募者
 - 3.任期が6月30日に終了するディストリクト役員：
 - a)ディストリクト・ディレクター
 - b)教育担当・ディレクター
 - c)クラブ担当・ディレクター
 - d)総務マネージャー
 - e)財務マネージャー
 - f)広報マネージャー
 - g)ディビジョン・ディレクター
 - h)エリア・ディレクター
 - 4.国際役員および国際ディレクターの候補者
 - 5.前期ディストリクト ディレクター
 - 6.7月1日から始まる任期にむけて、ディストリクト評議会が選出したディストリクト役員候補者
 - 7.以下の条件に該当する、コンテスト役員またはプレゼンターの役割を務めている会員：
 - a)ディストリクトを問わず、クラブレベルより上のコンテストで、自分が出場予定のコンテストと同じ種類のコンテストの投票審査員、同点決着審査員または審査員長
 - b)自分達が出場予定のコンテストと同じコンテストの計時係、集計係、会場係、またはその他のコンテスト役員。
 - c)教育セッションのプレゼンター、コンテスト委員長、コンテスト司会者、またはコンテストが開催されるイベントの実行委員長（これには

エリア、ディビジョン、ディストリクトのイベント、および国際大会を含む）。

8. 毎年8月開催の国際大会で行われるパブリックスピーキング世界チャンピオン大会の勝者は、以後どのレベルの国際スピーチコンテストにも再び出場できません。

9. 複数のクラブに所属する会員は、すべての出場資格要件を満たしていれば、会費納入済の各クラブのコンテストに出場できます。

a) 同じ種類のスピーチコンテストに2つ以上のエリアで出場することはできません。エリアが異なるディビジョンまたはディストリクトに属する場合でも同様です。

- ◆ 10. クラブレベルを超えるコンテストに出場するには、出場者は会場に直接出席していなければなりません。音声、動画、またはその他のリモート技術による参加は、クラブレベル以外のコンテストでは認められません(例外：国際スピーチコンテストのリージョン準々決勝およびオンラインスピーチコンテストとビデオスピーチコンテスト出場者)。

D. Toastmastersスピーチコンテストで審査員長、投票審査員または同点決着審査員を務めるには、以下に示されるすべての出場資格を満たす必要があります。

1. クラブコンテストでは、会費納入済会員であること。

2. エリア、ディビジョン、またはディストリクトコンテスト：

a) 最低6か月の会費納入済会員であること。

b) 「コンピテントコミュニケーション」マニュアルにおける6つ以上のスピーチプロジェクト、または Toastmasters Pathways のいずれかのコースのレベル1および2の修了証を取得済みであること

1. 各自の地域で Pathways の公開前に Toastmasters に入会した会員のみがコンピテントコミュニケーションマニュアルのスピーチを審査員資格に適用できます。

c) 自分がその職を務めているコンテストに本人が直接出席していること。
(例外：オンラインスピーチコンテストのコンテスト役員)

3. 国際スピーチコンテストのリージョン準々決勝、準決勝およびパブリックスピーキング世界チャンピオン大会：

a) 最低6か月の会費納入済会員であること。

1. クラブも会費納入済でなければなりません。

b) 少なくともアドバンストToastmasterブロンズまたはアドバンストコミュニケーターブロンズであること、あるいは「Toastmasters Pathways」学習経験における1コース以上を完了済みであること。

1. 各自の地域で Pathways の公開前に Toastmasters に入会した会員のみが、「コンピテントコミュニケーション」マニュアルのスピーチを、審査員資格に適用できます。

- ◆ c) エリア、ディビジョン、ディストリクト、または準決勝レベルで過去に Toastmastersスピーチコンテストの審査員を務めたことがあること。

- ◆ E. 他のすべてのコンテスト役員および論評コンテストのテストスピーカーは、以下に示されるすべての出場資格を満たす必要があります。

1. 会費納入済会員であること。

2.自分がその職を務めているコンテストに本人が直接出席していること。（例外：オンラインスピーチコンテストのコンテスト役員）

- F. 来る7月1日から任期が始まるディストリクトリーダーのポジションの候補者は、エリア、ディビジョン、またはディストリクトレベルのコンテスト役員またはテストスピーカーを務める資格はありません。

3. 選出順

- A. クラブ、エリア、ディビジョン、ディストリクト。参加資格のある各クラブは、エリアのスピーチコンテストの出場者を、それぞれ独自の方法で選ぶことができます。クラブのコンテストを開催する場合は、本規則集の規則を順守しなければならない、コンテスト結果は最終決定となります。コンテストはエリア、ディビジョン、およびディストリクトレベルで開催しなければなりません。エリアスピーチコンテストの勝者は、ディビジョンコンテストに進みます。ディビジョンの勝者はディストリクトコンテストに進みます。
- 10以上のディビジョンが属するディストリクトでは、ディストリクトコンテスト決勝戦の前にディビジョン優勝者を2組に分け、ディストリクト最終戦出場者決定戦を開催できます。
 - a) それぞれの組の最終戦出場者決定戦に出場するディビジョンの数は、可能な限り同じにします。
 - b) 各決定戦から上位3名の出場者がディストリクトコンテストに進みます。決定戦の結果の順位は発表されません。
 - クラブ、エリアまたはディビジョン コンテストの勝者が次のレベルのコンテストに参加できない場合、コンテストへ参加可能な最も上位の出場者がそのレベルに進みます。
 - ディストリクト レベルの次の段階である準々決勝、準決勝およびパブリック スピーキング世界チャンピオン大会が開催されるコンテストは、国際スピーチ コンテストだけです。
 - ディストリクトレベルのコンテストの勝者が準々決勝に参加できない場合、次点の上位出場者がそのレベルに進みます。
 - 国際スピーチコンテストの準々決勝出場者が準決勝ラウンドに出場できない場合は、国際本部から次点の参加者に連絡があります。
- B. エリアコンテストの8週間前の時点で、エリアに割り当てられた参加資格のあるクラブ数が4以下の場合、ディストリクトは、各クラブから2名ずつエリアコンテストに出場可能とすることもできます。
- エリアコンテストの前に追加クラブが設立認可を受けた場合、各クラブから2名の出場者が出場を許可されます。
 - 割り当てられたエリアの数が4以下のディビジョンの場合、ディストリクトは、各エリアから上位2名の出場者をディビジョンコンテストに出場可能とすることもできます。
 - 割り当てられたディビジョンの数が4以下のディストリクトの場合、ディストリクトは、各ディビジョンから上位2名の出場者をディストリクトコンテストに出場可能とすることもできます。
 - クラブからエリア、エリアからディビジョン、ディビジョンからディストリクトへ、2名の出場者が進むことを許可するかどうかは、コンテストサ

イクルの開始前（クラブコンテストの開催前）に決めてディストリクト全体に伝えなければなりません。

- a) 決定したら、影響を受けるすべてのクラブ、エリア、およびディビジョン全体でそれを一貫して実施しなければなりません。
 - b) ディストリクトが、クラブからエリアコンテストへの出場者を2名とした場合でも、エリアからディビジョンもしくはディビジョンからディストリクトに進むコンテスト出場者の数を同様にする必要はありません。
5. 出場者が1名だけのコンテストが開催される場合もあります。その場合もコンテストの開催は必要です。出場者が時間制限、独創性、出場資格要件を満たさない場合は失格となります。

4. スピーチのテーマと準備

- A. すべての国際、ユーモア、およびほら話スピーチコンテスト用のスピーチのテーマは、出場者が選ぶ必要があります。
- B. テーブルトピックスコンテスト用のテーマは、本書の「テーブルトピックスコンテスト」の記載に従い、コンテスト委員長が決定するものとします。
- C. 論評コンテストスピーチのテーマは、本書の「論評コンテスト」の記載に従い、テストスピーカーのスピーチの口頭での論評に限定される必要があります。
- D. コンテスト出場者は、独自のスピーチを作成する必要があります、各スピーチは完全に独自のものである必要があります。
 - 1. スピーチの25%あるいはそれ以下であれば、他の人の内容の引用、言い換え、または参照に使用することができます。引用、言い換え、または参照した内容は、スピーチ中にその旨を示さなくてはなりません。
 - 2. 各コンテスト出場者は、すべてのコンテストの前に、審査員長に対し、「Speaker's Certification of Eligibility and Originality（スピーカーの適格性および独創性証明書）」（アイテム 1183、英語版のみ）を使用し、スピーチの内容が完全に独自のものであることを書面で証明する必要があります。
- E. 出場者は同じコンテストに参加している別の出場者、または別の出場者が発表したスピーチについて、スピーチの最中に言及してはいけません。
- F. すべての出場者は、コンテスト委員長が指定する同じ演壇またはスピーキングエリアからスピーチを行います。
 - 1. すべての出場者、審査員長、投票審査員および同点決着審査員には、コンテスト開始前にスピーキングエリアが伝えられます。
 - 2. 演台/演壇が提供されますが、その使用は任意です。（例外：オンラインスピーチコンテストにおいては、出場者は自分が使用する機器に対して責任を負います。）
 - 3. 拡声器が必要な場合は、演台/演壇に据え付けられたマイク持ち運び可能なマイクを提供するものとします。（例外：オンラインスピーチコンテストにおいては、出場者は自分が使用する機器に対して責任を負います。）
 - 4. コンテストを開始する前に、出場者が練習できるようにすべての機器を提供する必要があります。出場者は、紹介される前に演台/演壇のマイクやその他の機器を静かに自分の好みに合わせて調整しなければなりません。（例外：オンラインスピーチコンテストにおいては、出場者は自分が使用する機器に対して責任を負います。）

5. 一般手順

- A. Toastmastersスピーチ コンテストの各レベルでは、規定数の投票審査員と役員が必要になります。
1. クラブコンテストでは、特に不都合がなければコンテスト委員長1名、審査員長1名、5名以上の投票審査員、同点決着審査員1名、集計係2名、計時係2名が指名されます。オンラインスピーチコンテストでは、技術的なトラブルに備えて、最低1名のバックアップタイマーも指名されます。
 2. エリアコンテストでは、エリア内の各クラブから同数の投票審査員、または少なくとも5名の投票審査員を置くものとします。これらの投票審査員のほか、コンテスト委員長1名、審査員長1名、同点決着審査員1名、集計係2名、計時係2名を指名しなくてはなりません。オンラインスピーチコンテストでは、技術的なトラブルに備えて、最低1名のバックアップタイマーも指名されます。
 3. ディビジョンコンテストでは、ディビジョン内の各エリアから同数の投票審査員、または少なくとも7名の投票審査員を置くものとします。これらの投票審査員のほか、コンテスト委員長1名、審査員長1名、同点決着審査員1名、集計係2名、計時係2名を指名しなくてはなりません。審査員長、投票審査員、および同点決着審査員は、出場者が所属するクラブの会員であってはなりません。オンラインスピーチコンテストでは、技術的なトラブルに備えて、最低1名のバックアップタイマーも任命されます。
 4. ディストリクトコンテストでは、ディビジョン内の各エリアから同数の投票審査員、または少なくとも7名の投票審査員を置くものとします。これら投票審査員のほか、コンテスト委員長1名、審査員長1名、同点決着審査員1名、集計係3名、計時係2名を指名するものとします。審査員長、投票審査員または同点決着審査員は、出場者が所属するクラブの会員であってはなりません。オンラインスピーチコンテストでは、技術的なトラブルに備えて、最低1名のバックアップタイマーも指名されます。
 5. 国際スピーチコンテストの準々決勝には、最低9名の投票審査員と1名の同点決着審査員が必要です。前国際会長が全ての準々決勝の審査員長になります。前国際会長が審査員長を務められない場合は、第一副会長が過去の国際会長の中から任命します。投票審査員、同点決着審査員は、コンテスト出場者と同じクラブの会員であってはなりません。投票審査員、同点決着審査員は、コンテスト出場者と同じクラブの会員であってはなりません。
 6. 国際スピーチコンテストの準決勝では、各ディストリクトから同数の投票審査委員、または少なくとも9名の投票審査員を置く必要があります。これらの投票審査委員のほか、コンテスト委員長1名、審査員長1名、同点決着審査員1名、集計係3名、計時係2名が指名されます。審査員長、投票審査員または同点決着審査員は、出場者が所属するクラブの会員であってはなりません。
 7. パブリックスピーキング世界チャンピオン大会では、各リージョンを代表する投票審査員1名を置く必要があります。これらの審査員のほか、コンテスト委員長1名、資格要件審査員5名、同点決着審査員1名、集計係3名、計時係2名が指名されます。前国際会長がパブリックスピーキング世界チャンピオン大会の審査員長になります。前国際会長が審査員長を務められない場合は、第一副会長が過去の国際会長の中から任命します。審査

員長、投票審査員、資格要件審査員、または同点決着審査員は、出場者が所属するクラブの会員であってはなりません。

8. すべてのレベルの投票審査員は、可能な限り匿名性を守る必要があります。
 9. コンテスト委員長はコンテストトーストマスターを任命できます。その場合、「コンテストトーストマスター」はコンテスト委員長をサポートする会員を指す用語として使用されます。コンテストトーストマスターも、自分がその職を務めているコンテストに出場する資格はありません。
 10. コンテストの役員は、エリア（なるべく）、ディビジョン、ディストリクト、準々決勝、準決勝、また決勝の各レベルにおいて、同じコンテストで複数の役割を務めることはできません。
- B. コンテストの前に、出場者はコンテスト委員長から規則の簡単な説明を受けます。コンテスト委員長立ち会いのもと、出場者はスピーチの順番を抽選で決めます。
1. 国際、論評、ユーモア、テーブルトピックス、ほろ話スピーチコンテストでは、出場者はコンテスト委員長と一緒に発表順を抽選で決定します。
 2. オンラインスピーチコンテストでは、全出場者に画面共有されるランダム化ツールを使用して発表順を決定することができます。
- C. 出場者が説明会に不在の場合、代理スピーカーがいれば、正規出場者に代わり、説明会へ代理出席することが認められます。
1. コンテストの委員長が紹介される際に正規出場者が不在の場合、その正規出場者は出場資格を失い、その代理スピーカーが正式に出場者となります。
 2. 説明会終了後、コンテスト委員長が紹介される前に正規出場者が到着した場合、その正規出場者は以下の条件を満たす場合に出場を許可されます。
 - a) 到着時にコンテスト委員長に報告する。
 - b) コンテスト委員長がコンテストを開始するために紹介される前に、すべての必要な書類を正しい形で準備していること。
 - c) ブリーフィングの機会を放棄する。
- D. コンテストの前に、投票審査員、集計係、および計時係は審査員長からそれぞれの義務について簡単な説明を受けます。
1. 各投票審査員には、コンテスト用の適正な審査用紙が渡されます。
 - a) 国際スピーチコンテストの投票審査員は、「International Speech Contest Judge's Guide and Ballot（国際スピーチコンテスト審査員用引きと投票用紙：英語のみ）」（アイテム 1172）を受け取ります。
 - b) 論評コンテストの投票審査委員は、「Evaluation Contest Judge's Guide and Ballot（論評コンテスト審査委員用引きと投票用紙：英語のみ）」（アイテム 1179）を受け取ります。
 - c) ユーモアコンテストの投票審査員は、「Humorous Speech Contest Judge's Guide and Ballot（ユーモアコンテスト審査員用引きと投票用紙：英語のみ）」（アイテム 1191）を受け取ります。
 - d) テーブルトピックスコンテストの投票審査員は、「Table Topics Contest Judge's Guide and Ballot（テーブルトピックスコンテスト

審査員用手引きと投票用紙：英語のみ）」（アイテム 1180）を受け取ります。

e) ほら話コンテストの投票審査員は、「Tall Tales Contest Judge's Guide and Ballot（ほら話コンテスト審査員用手引きと投票用紙：英語のみ）」（アイテム 1181）を受け取ります。

f) オンラインスピーチコンテストの投票審査員は、「Online Speech Contest Judge's Guide and Ballot」（オンラインスピーチコンテスト審査員の手引きと投票用紙）（英語版のみ）」（アイテム 1189A）を受け取ります。

g) すべての投票審査員および同点決着審査員は、「Judge's Certification of Eligibility and Code of Ethics（審査員の資格および倫理規定に関する証明書：英語のみ）」（アイテム 1170）を受け取ります。証明書に署名の上、審査員長に提出しなければなりません。

2. 計時係は、「Speech Contest Time Record Sheet and Instruction for Timers（スピーチコンテスト計時記録用紙と計時係への指示事項：英語のみ）」（アイテム 1175）を受け取ります。必要に応じて、計時機器の適切な使用に関する説明書も受け取ります。

3. 投票用紙集計係は、「Counter's Tally Sheet（集計係用集計用紙：英語のみ）」（アイテム 1176）を受け取ります。必要に応じて、投票用紙の回収手順および集計室での手順も受け取ります。（下記参照）

E. コンテストの前に、審査員長は同点決着審査員を務める会員を選出します。

1. 同点決着審査員の指名は秘密とし、審査委員長のみが知ります。

2. 同点決着審査員は審査員ブリーフィングに出席しません。

3. 審査員長は、コンテスト開始前に Tiebreaking Judge's Guide and Ballot（同点決着審査員用手引きと投票用紙）を同点決着審査員に提供する必要があります。

a) 国際スピーチコンテストの同点決着審査員は、「International Speech Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot（国際スピーチコンテスト同点決着審査員用手引きと投票用紙：英語のみ）」（アイテム 1188）を受け取ります。

b) 論評コンテストの同点決着審査員は、「Evaluation Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot（論評コンテスト同点決着審査員用手引きと投票用紙：英語のみ）」（アイテム 1179）を受け取ります。

c) ユーモアスピーチコンテストの同点決着審査員は、「Humorous Speech Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot（ユーモアスピーチコンテスト同点決着審査員用手引きと投票用紙：英語のみ）」（アイテム 1191A）を受け取ります。

d) テーブルトピックスコンテストの同点決着審査員は、「Table Topics Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot（テーブルトピックスコンテスト同点決着審査員用手引きと投票用紙：英語のみ）」（アイテム 1180A）を受け取ります。

e) ほら話コンテストの同点決着審査員は、「Tall Tales Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot（ほら話コンテスト同点決着審査員用手引きと投票用紙：英語のみ）」（アイテム 1181A）を受け取ります。

f) オンラインスピーチコンテストの同点決着審査員は、「Online Speech Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (オンラインスピーチコンテスト同点決着審査員用引きと投票用紙) (英語版のみ)」(アイテム1189B)を受け取ります。

F. 国際、ユーモア、およびほら話コンテスト、そしてオンラインコンテストでは、各出場者を紹介する際に、コンテスト委員長は出場者の氏名、スピーチの題、スピーチの題、出場者の氏名を以上の順で発表しなくてはなりません。

1. テーブルトピックスコンテストでは、各出場者の紹介にあたって、コンテスト委員長は出場者の60氏名、トピック、トピック、出場者の氏名を以上の順で発表しなくてはなりません。

2. 論評コンテストでは、各出場者を紹介する時に、コンテスト委員長は出場者の氏名を2回発表しなくてはなりません。

G. 国際、ユーモア、およびほら話コンテストの出場者は、コンテスト開催中、同じ会場にずっといることが許されます。

1. オンラインスピーチコンテストの出場者は、コンテスト期間中、同じバーチャルルームにずっといることが許されます。

2. 論評コンテスト出場者は、本書の「論評コンテスト」の記載に従い、テストスピーチの実施後に部屋から退去する必要があります。

3. テーブルトピックスコンテストの出場者は、本書の「テーブルトピックスコンテスト」の項に記載されている通り、前の出場者がトピックへの応答を完了するまでは、部屋に入ることはできません。

H. 出場者がスピーチを行ってから次のスピーチが始まる前に、1分間の沈黙があり、その間に投票審査員および同点決着審査員が投票用紙に記入します。すべての投票審査員と同点決着審査員はすべての出場者を審査しますが、審査員長は出場者を審査しません。

I. 最後の出場者がスピーチを終わると、コンテスト委員長は投票用紙集計係がすべての投票用紙を回収するまで沈黙を求めます。審査員長は、すべての投票用紙を回収したら、コンテスト委員長に伝えます。コンテストは、必ずこの通知を受けてから再開されなければなりません。

1. 投票用紙を有効にするため、審査員は以下のとおりに行動するものとします。

a) 1位、2位、3位を記入して、投票用紙を提出してください。

b) 投票用紙に自分の氏名を署名および活字体で記入します。電子署名も許可されます。

2. 投票審査員が投票用紙の記入を終えたら、投票用紙の下部を投票用紙集計係に密かに渡さなければなりません（物理的な投票用紙を使用する場合、回収前に投票用紙を封入するための封筒を審査員に提供します。）

a) 投票用紙の上部は投票用紙集計係に渡さず、コンテスト終了後に投票審査員が慎重に廃棄しなければなりません。

3. 同点決着審査員が全参加者の順位を記入し終えたら、投票用紙の下部を審査員長に密かに渡さなければなりません（物理的な投票用紙を使用する場合、回収前に投票用紙を封入するための封筒を同点決着審査員に提供します。）

- a)投票用紙の上部は審査員長に渡さず、コンテスト終了後に同点決着審査員が慎重に廃棄しなければなりません。
- 4.投票審査員および同点決着審査員がコンテスト終了時に投票用紙に記入を終え、ストップウォッチを持つ計時係は時間記録用紙を完成させ、審査員長に渡します（物理的な用紙を使用する場合、回収前に時間記録用紙を封入するための封筒を計時係に提供します）。
- J. すべての投票用紙が回収されたら、投票用紙集計係と審査員長は個室の集計室で結果を集計します（これは、コンテストの種類に応じて物理的な部屋でもバーチャルルームでも構いません）。
1. 集計室では、投票用紙集計係が「Counter's Tally Sheet（集計係用集計用紙：英語のみ）」（アイテム 1176）を使用してコンテスト結果を一覧にします。
- a)集計係用集計用紙では、投票審査員の投票用紙の1位～3位までのランクに従って各出場者にポイントが付けられます。
- 1.1位には3ポイント
 - 2.2位には2ポイント
 - 3.3位には1ポイント
- b)すべてのポイントが記入されると、投票用紙集計係は各出場者の合計ポイントを集計し、集計用紙の下部に合計を記入します。
- 1.結果を用紙に記入する前に、すべての投票用紙集計係が合計ポイントを再確認しなければなりません。
 - 2.その後、獲得ポイント数に従って集計用紙の下部に出場者の順位が付けられます。
- c)同点の場合は、審査員長が同点決着審査員の投票結果を参考とします。
- d)複数の出場者が同点だった場合、同点決着審査員の投票でより高いランクを受けた出場者が、他の出場者を押さえその順位を獲得します。他の同点出場者も同点決着審査委員の投票順にランクされます。
- 2.結果を一覧にして確認したら：
- a)審査員長が全出場者のランクをNotification of Contest Winner form（コンテスト勝者通知用紙）（英語版のみ）」（アイテム 1182）に記録し、次のレベルのコンテスト委員長に送ります。（該当する場合）
- b)審査員長は逆順に勝者の氏名を「Results Form（結果用紙）（英語版のみ）」（アイテム 1168）に記録し、コンテスト委員長に渡します。
- 3.すべての投票用紙と集計用紙は、勝者が発表されるまで審査員長が保管します。
- K. 出場者インタビューの終了後、コンテスト委員長はコンテストの勝者を発表します。
- 1.出場者が3名以上のコンテストの場合、3位入賞者、2位入賞者そして優勝者の順番に発表します。勝者は、逆順に発表されます。
 - 2.出場者が3名未満のコンテストの場合、2位入賞者（該当する場合）および優勝者の順番に発表します。勝者は逆順に発表されます。勝者は、逆順に発表されます。
 - 3.勝者の発表は、イベント終了前に行わなければなりません。

- a) イベントの内容がコンテストだけの場合は、コンテスト終了前に勝者を発表しなければなりません。
- b) 大規模な大会やイベントの一部として複数のコンテストを開催する場合は、その大会またはイベントが終了する前にすべてのコンテストの勝者を発表しなければなりません。
- 4. 一つのイベントで複数のコンテストを開催する場合は、進行中のコンテストの勝者がまだ発表されていなくても、次のコンテストを開始する前に、そのコンテストを正式に終了しなければなりません。
- 5. 国際スピーチコンテストの準々決勝では、準決勝に進む出場者の発表は順不同です。順位は発表されません。
- 6. 国際スピーチコンテストの準決勝では、パブリックスピーキング世界チャンピオン大会に進む出場者の発表は順不同です。順位は発表されません。
- 7. 入賞者の発表を持って、コンテストの結果は最終となります。ただし、その発表に誤りがあった場合には、審査員長、投票用紙集計係、計時係がその誤りを指摘することが許されます。
- L. 勝者の発表後、審査員長はすべての投票用紙、時間記録用紙、集計用紙を破棄します。

6. スピーチの計時

- A. 審査員長によって2名の計時係が指名されます。片方にはストップウォッチが提供され、もう片方には緑、黄色、赤が表示できる計時装置が提供されます。オンラインスピーチコンテストでは、技術的なトラブルに備えて、最低1名のバックアップタイマーも指名されます。
- B. 計時装置は各出場者に完全に見えるように設置しなければなりません。
- C. ストップウォッチ担当計時係は、「Speech Contest Time Record Sheet and Instructions for Timers (スピーチコンテスト計時記録用紙と計時係への指示事項：英語のみ)」（アイテム 1175）に各スピーチの経過時間を記録し、審査員長に提出します。これが、公式な時間となります。
- D. タイムキーブ担当計時係は、出場者がスピーチ中に適切なタイミングで正確な緑、黄色、または赤のシグナルを確認できるようにします。
- E. 出場者が行うすべてのスピーチは、コンテストの発表時間に関する手引きに準拠しなければなりません。
 - 1. 国際およびユーモアコンテストのスピーチ時間は5分から7分とします。スピーチが4分30秒未満または7分30秒を超える場合、出場者は失格となります。計時係は、秒未満の数字を考慮してはなりません。出場者はスピーチが4分30秒に達するまで適格とされず、7分31秒に達するまで失格となりません。
 - 2. テーブルトピックスコンテストのスピーチ時間は1分から2分です。スピーチが1分未満または2分30秒を超える場合、出場者は失格となります。計時係は、秒未満の数字を考慮してはなりません。出場者はスピーチが1分に達するまで適格とされず、2分31秒に達するまで失格となりません。
 - 3. 論評コンテストのスピーチ時間は2分から3分とします。スピーチが1分30秒未満または3分30秒を超える場合、出場者は失格となります。計時係は、秒未満の数字を考慮してはなりません。コンテストアンタは、スピーチ時間が1分30秒に達するまでは資格を得ず、3分31秒に達するまでは失格にはなりません。

4. ほら話コンテストのスピーチ時間は3分から5分とします。スピーチが2分30秒未満または5分30秒を超える場合、出場者は失格となります。計時係は、秒未満の数字を考慮してはなりません。出場者はスピーチが2分30秒に達するまで適格とされず、5分31秒に達するまで失格となります。
- F. 紹介されたら、出場者は速やかにスピーチ位置に移動する必要があります。
1. 各出場者の映像および音響機器が正常に作動することを確認するために、出場者は紹介された後に「コンテスト委員長、ありがとうございます」と言わなければなりません。
 - a) 映像および音響機器が正常に作動している場合、コンテスト委員長は「どういたしまして」と返答します。出場者が聴衆に向けて最初の発声またはジェスチャーのような声以外の語りかけを行うと、計時が始まります。これは通常、出場者が最初に発する言葉となりますが、効果音や他の人物による演出など、他のいかなるコミュニケーションも含まれます。
 - b) 機器が正常に作動していない場合、コンテスト委員長は出場者にその旨を知らせ、適切な修正が行われるまでコンテストを一時中断します。
 1. 国際スピーチ、論評、ユーモア、テーブルトピックス、およびトールテールコンテストにおいては、適切な修正が行われた場合、コンテストチェアがコンテストントを再紹介します。
 2. オンラインスピーチコンテストでは、コンテストントに対し、適切な修正を行うための時間として10分間が認められます。
 - i. コンテストントが10分以内に機材の不具合を修正できた場合、コンテストチェアはそのコンテストントを再紹介します。
 - ii. コンテストントが10分以内に機材を修復できない場合は、コンテストは次のコンテストントへと進みます。
 2. スピーカーは、スピーキングエリアに立ったら速やかにスピーチを始め、不用意なコンテストの遅延は許されません。

G. 計時係は、聴衆には見えなくてもスピーカーにははっきりと見えるように警告シグナルを出場者に提示するものとします。

 1. 国際スピーチ、ユーモアスピーチ、オンラインスピーチコンテストにおいては：
 - a) 5分経過後に緑のシグナルが点灯し、1分間継続します。
 - b) 6分経過後に黄色のシグナルが点灯し、1分間継続します。
 - c) 7分経過後に赤のシグナルが点灯し、スピーチが終了するまで継続します。
 2. 論評コンテストの場合：
 - a) 2分経過後に緑のシグナルが点灯し、30秒間継続します。
 - b) 黄色のシグナルが2分30秒経過後に点灯され、30秒間点灯を継続します。
 - c) 3分経過後に赤のシグナルが点灯し、スピーチが終了するまで継続します。
 3. テーブルトピックスコンテストの場合：
 - a) 1分経過後に緑のシグナルが点灯し、30秒間継続します。
 - b) 1分30秒経過後に黄色のシグナルが点灯し、30秒間継続します。

c)2分経過後に赤のシグナルが点灯し、スピーチが終了するまで継続します。

4.ほら話コンテストの場合：

a)3分経過後に緑のシグナルが点灯し、1分間継続します。

b)4分経過後に黄色のシグナルが点灯し、1分間継続します。

c)5分経過後に赤のシグナルが点灯し、スピーチが終了するまで継続します。

5.すべてのスピーチコンテストにおいて、時間オーバーのシグナルを提示してはなりません。

6.視力の悪い出場者は、自分で選んだ形式の警告シグナルを要求することができ、それが提供されなければなりません。

a)許容可能な警告シグナルには、ブザー、ベル、または5分/6分/7分経過後に時間を伝える担当者などがありますが、これらの例に限られるものではありません。

b)当該シグナル用の特別な機器および/または特定の手順が必要な場合は、出場者がそれを用意しなければなりません。

7.シグナルまたは計時装置が故障した場合、失格になる前にスピーカーには延長時間が許可されます。

H.結果を発表する前に、コンテスト委員長は時間による失格者数を発表する必要があります。ただし、時間による失格に該当する出場者の氏名は発表しません。

7. 抗議と失格

A.抗議は出場資格、独創性、および別の出場者のスピーチへの言及に限定され、申し立てを行えるのは投票審査員および/または出場者のみとします。抗議がある場合は、コンテストが終了する前に審査員長および/またはコンテスト委員長に申し立てする必要があります。

B.審査員長、コンテスト委員長、投票審査員、および出場者は、聴衆による抗議を考慮してはいけません。

C.独創性または別の出場者のスピーチへの言及を理由に失格となる前に、出場者には投票審査員に対して応答する機会が与えられなければなりません。失格の決定は、投票審査員の多数決をもってなされるものとします。

D.コンテスト委員長は、出場資格を理由に出場者を失格にすることができません。

E.投票審査員および資格要件審査員のすべての判断は最終決定となります。

8. 小道具と電子機器の使用

A.小道具（電子機器、音楽、PowerPointスライド、バーチャル背景などを含みますが、これらに限定されるものではありません）を使用する予定の出場者は、コンテストの前にコンテスト委員長にその旨を通知します。

B.出場者は、小道具の使用に関する会場規制に従わなければなりません。

C.すべての小道具は、紹介前の1分間の沈黙中にセットアップし、スピーチ後の1分間の沈黙中にステージから撤去しなければなりません。

1.出場者は小道具のセットアップ作業を手助けしてくれるスタッフを登録できますが、その任命はコンテスト委員長またはその他のコンテスト役員の責任ではありません。

2.出場者は、割り当てられた時間内に小道具のセットアップおよび撤去が可能であることを、コンテスト委員長に対してコンテスト開始前に実演しなければなりません。

a)出場者がこれを実演できない場合、コンテスト中に小道具を使用できません。

国際スピーチコンテスト規則

国際スピーチコンテストは、会員が競技形式でパブリックスピーキングおよびスピーチ構成力を実践・向上させるための機会を提供します。すべてのスピーチは、「アイデアを明確に展開し、実質的に独創的なスピーチとして発表する」というコンテストの全体的な目的に沿ったものでなければなりません。

国際スピーチコンテストは英語のみで実施されなければならない、本規則集の「総則」に記載されたすべての規則に従って実施されます。また、以下の追加および例外事項が適用されます。

1.国際スピーチコンテストはクラブレベルで開始され、エリア、ディビジョン、ディストリクト、準々決勝、準決勝、決勝の各レベルに進みます。

A. 地域準々決勝の審査用として世界本部に提出されるディストリクトコンテストのビデオは、以下の要件を満たさなければなりません。

オーディオ

▶ 音声は明瞭で、反響音、雑音、その他過度のノイズが含まれていないことが求められます。

カメラ

▶ カメラは高解像度で撮影する必要があります。

▶ 1台のカメラのみ設定可能で、複数のカメラアングルの使用はできません。

▶ 安定性を保ち、不要な動きを防ぐために、カメラは三脚に取り付けなければなりません。

▶ カメラは、出場者を遮るものがなく、焦点の合った状態である必要があります。

▶ 録画中は最初から最後まで、スピーチ エリア全体が見えなければなりません。

▶ 正しく録画されていることを確認するため、カメラ撮影者は常時カメラを監視し続ける必要があります。

▶ ズームは使用できません。

照明

▶ スピーキングエリアは十分な照明で照らされている必要があります。

▶ スピーカーの顔の表情は、スピーチ全体を通して見えていなければ、映像は明るすぎても暗すぎてもいけません。

▶ 人工光または自然光のいずれかにかかわらず、光が直接カメラに向けられてはなりません。

動画の録画

▶ ビデオには、コンテスト委員長による優勝者のスピーチの紹介と、優勝者のスピーチ全体のみを含めることができます。

▶ ビデオは、文字、グラフィックス、画像、または上記の要件を満たさないものを追加するなど、いかなる方法でも編集することはできません。

- ◆ B. リージョン準々決勝のビデオが録画要件のいずれかを満たしていない場合、出場者は審査員長により失格とされます。ビデオを提出したディストリクトには失格について通知され、次点の出場者のビデオを提出するための営業日3日間が与えられます（同じ出場者のビデオを再提出することはできません）。次点の出場者のビデオが録画要件を満たしていない場合、その出場者は審査員長により失格とされます。ディストリクトには、準々決勝用のビデオを追加で提出する機会は与えられません。
- C. 世界本部へのディストリクトからの提出
 1. ディストリクトレベルの国際スピーチコンテストの後、審査員長はすべてのディストリクトレベル出場者を結果順に「コンテスト勝者通知用紙（英語版のみ）」（アイテム 1182）に記入し、プログラムクオリティディレクターに提出します。
 2. プログラムクオリティディレクターは、「コンテスト勝者通知用紙」、「リージョン準々決勝の動画リリース用紙（英語版のみ）」、および1位入賞者の動画を、要求される形式および方法で世界本部に提出します。
- D. リージョン準々決勝は、ディストリクト優勝者の提出後にビデオで実施されます。リージョン準々決勝では、各コンテストに9名以上10名以下の出場者が含まれるように、ディストリクト優勝者が無作為に割り当てられます。
 1. リージョン準々決勝の審査員は、審査員長が定めた順序で、担当するコンテストのすべてのビデオを視聴します。
 2. リージョン準々決勝の審査員は、すべてのビデオを1回のセッションで視聴しなければなりません。
 3. リージョン準々決勝の審査員は、各ビデオを1度だけ視聴することができます。一時停止や巻き戻しは禁じられています。
 4. リージョン準々決勝の結果が発表された後、準決勝コンテストに関する情報が世界本部から勝者に通知されます。
- E. 準決勝は国際大会において開催され、各リージョン準々決勝コンテストの上位2名の勝者が、無作為に4つの別々のコンテストに割り当てられます。
 1. 準決勝スピーチコンテスト用のすべての出場者の説明会は、国際本部スタッフが同時に行います。
 2. また、準決勝スピーチコンテスト用のすべての審査員の説明会も世界本部スタッフが同時に行います。
- F. World Championship of Public Speaking®（パブリックスピーキング世界大会）のすべての出場者は、その年の準決勝スピーチコンテストや、過去の年の準決勝および決勝スピーチコンテストで発表したスピーチとは全く異なる、新しいスピーチを発表しなければなりません。
 1. 国際大会の準決勝レベルに進む勝者は、各自の準決勝スピーチの概要を作成し世界本部へ送信します。以前、準決勝または決勝レベルで競ったことがある出場者は、これらのレベルで発表した全スピーチの概要を世界本部へ提供します。全ての準決勝勝者が提出したスピーチの概要は、パブリックスピーキング世界チャンピオン大会の審査員向け説明会の前、またはその最中に、資格要件審査員に与えられます。

2. なお、資格要件審査員には資格審査用紙も提供されます。この用紙において、資格要件審査員は、World Championship of Public Speaking®（パブリックスピーキング世界チャンピオン大会）で発表されるスピーチが、準決勝コンテストまたは過去の年の準決勝や決勝コンテストで発表されたスピーチとは全く異なる新しいものであるかどうかを記入します。
 3. 投票審査員がコンテスト終了時に投票用紙に記入している間に、資格要件審査員は資格審査用紙に記入して署名し、提供された封筒に入れ、投票用紙集計係が回収するまで保管しておきます。
 4. 投票用紙集計室で、審査員長がすべてのスピーカー資格審査用紙を開封して確認します。特定のスピーカーについて、5名の資格要件審査員のうち3名が失格列に「X」を記入した場合、そのスピーカーは失格となり、またそれについての抗議を行うことはできません。
2. 準決勝、およびパブリックスピーキング世界チャンピオン大会では、コンテスト周期の開始となる前年の7月1日（パブリックスピーキング世界チャンピオン大会の約14ヶ月前）の時点で有効な規則集に従います。

論評コンテスト規則

論評コンテストでは、本書の「一般的規則」に記載されたすべての規則に従います。また、以下の追加および例外事項が適用されます。

1. このコンテストの開始時には、5～7分のテストスピーチが行われます。
 - A. テストスピーチは、コンテスト形式のスピーチまたは Toastmasters Pathways 学習経験のプロジェクトスピーチでなくてはなりません。
 - B. テストスピーチ中に準備ノートをとる選択をするコンテスト出場者は、「Evaluation Contestant Notes sheet（論評コンテストノート用紙：英語のみ）」（アイテム1177）を使用する必要があります。複数の用紙を使用できます。
 - C. コンテストの全レベルで、テストスピーチを行うトーストマスターは、出場者のいずれかと同じクラブの会員ではないことが望ましいです。
 - D. テスト スピーカーの紹介では、スピーカーの氏名、スピーチの題、スピーチの題、スピーカーの氏名が発表される必要があります。
 - E. テストスピーカーのプロジェクトや目的は、出場者、審査員長、投票審査員、同点決着審査員、または聴衆に知られてはなりません。
2. 全出場者は、テストスピーチの終了時に部屋から退去しなくてはなりません。その後、論評コンテストノート用紙を使用して論評を準備するため、5分間の時間が与えられます。
 - A. 計時および準備の監督は、コンテストの会場係（SAA）の管理下で行われなければなりません。
 - B. 出場者が部屋を離れることが現実的でない場合は、出場者はコンテストの会場係（SAA）の管理下で、同じ部屋で5分間の準備を行います。
 - C. コンテスト中は公平を期するため、出場者はデジタルまたはその他の機器を使用できません。
3. 分経過後はいかなる準備も認められず、すべての出場者は、論評コンテストノート用紙をコンテスト会場係に手渡します。出場者メモシートは、出場者が自らの評論を発表するために紹介される時に、本人に返却するものとします。

4. 出場者の氏名を2回発表することにより、各出場者を紹介します。論評スピーチには題がないため、この点は通常の「名前、スピーチの題、スピーチの題、名前」という形式とは異なるのでご注意ください。

ユーモアスピーチ コンテスト規則

ユーモア コンテストでは、本書の「一般的規則」に記載されたすべての規則に従います。また、以下の追加および例外事項が適用されます。

1. ユーモアスピーチのテーマは、出場者が選ぶ必要があります。スピーカーは、好ましくないと思われる言葉遣い、逸話、内容を避けなければなりません。
2. スピーチは、本質的にテーマに基づいている必要があります（起承転結）、モノローグ（短いジョークの連続）にしてはなりません。

テーブルトピックスコンテスト規則

テーブル トピックス コンテストでは、本書の「一般的規則」に記載されたすべての規則に従います。また、以下の追加および例外事項が適用されます。

1. すべての出場者は同じトピックを受け取り、その本質は一般的なジャンルであるものとします。
 - A. トピックは、コンテスト委員長により選択されます。
2. トピックは妥当な長さで、詳細な知識は必要とせず、意見や結論に至るものでなければなりません。
3. 出場者は、コンテスト委員長に紹介されるまでトピックに関する事前の情報を得ることはありません。
4. コンテスト中は公平を期するため、出場者はデジタルまたはその他の機器を使用できません。
5. コンテストが開始されたら、最初の出場者を除くすべての出場者は部屋を退出し、コンテストの会場係（SAA）の監督下に置かれなければなりません。
6. 各出場者の紹介では、出場者の氏名、トピック、トピック、出場者の氏名が発表されます。
7. 各スピーチの終了後、次のスピーカーが部屋に招き入れられます。

ほら話コンテスト規則

ほら話コンテストでは、本書の「一般的規則」に記載されたすべての規則に従います。また、以下の追加および例外事項が適用されます。

1. ほら話スピーチのテーマは、大げさで実行不可能なもので、テーマやプロットを持たなければなりません。
2. スピーチの補足と例示のため、ユーモアや小道具を使用できます。

オンラインスピーチコンテスト規則

オンラインスピーチコンテストは、会員がオンラインプラットフォームを活用し、競技形式でパブリックスピーキングおよびコンテンツ構成の練習を行う機会を提供します。各スピーチのトピックと目的は、スピーカー自身によって決定されます。すべてのスピーチは、「アイデアを明確に展開し、実質的に独創的なス

スピーチとして発表する」というコンテストの全体的な目的に沿ったものでなければなりません。

オンラインスピーチコンテストは、本規則集の「総則」セクションに記載されたすべての規則に従います。また、以下の追加および例外事項が適用されます。

1. オンラインスピーチコンテストは、すべての出場者およびコンテスト役員が物理的に離れた場所から、オンラインでライブ参加する形式で実施されます。
2. すべての出場者およびコンテスト役員は、各自で用意した機材を使用して、リアルタイムでライブ参加しなければなりません。
3. すべてのブリーフィングおよびリハーサルは、オンラインで実施しなければなりません。
 - A. 出場者ブリーフィングおよび審査員ブリーフィングには、以下の内容を含めなければなりません。
 1. 技術的なトラブルへの対応方法に関する説明。
 2. コンテスト中に、出場者およびコンテスト役員が審査員長、コンテスト委員長、その他の進行役と連絡を取る方法。
 3. コンテスト中に、審査員長および／またはコンテスト委員長が出場者と連絡を取る方法。
 - B. リハーサルには、以下の時間を含めなければなりません。
 1. 各出場者がオーディオビジュアル機器のチェックを行う時間。
 2. コンテスト委員長が各出場者のスピーキングエリアを定義する時間。
4. オンラインスピーチコンテストの実施に使用するプラットフォームは、以下の要件を満たさなければなりません。
 - A. すべての出場者が、ビデオのオン・オフおよびミュート・ミュート解除を自分で操作できる状態でコンテストに参加できること。
 - B. すべてのコンテスト役員が、機密性を保ちながら出場者のスピーチをライブで視聴できること。
 - C. ミーティングのホストが、参加者をミュートにしたりビデオをオフにしたりすることができ、また、参加者にミュート解除やビデオオンを促すこともできること。
 - D. すべての出場者が、計時係からのタイミングシグナルを視認できること。
5. コンテスト開始前に、審査員長およびコンテスト委員長は、コンテストを一時停止すべき状況が生じた際に、非公開で連絡または合図を行う方法をあらかじめ設定しておかなければなりません。
6. 以下のオンラインスピーチコンテスト用の声明文は、すべてのコンテスト参加者に見える場所で読み上げるか、書面で表示しなければなりません。
 - A. このオンラインのエリア、ディビジョン、またはディストリクトスピーチコンテストに参加することにより、参加者は Toastmasters International のプライバシーポリシーおよび、関連のないオンラインホスティングサービスのプライバシーポリシーにも同意したものとみなされます。氏名、映像、共有されたメッセージなど、一部の個人情報他は他の参加者と共有される場合があります、Toastmasters International によって記録されます。この記録は、Toastmasters International の判断により将来的に使用される可能性があります。オンラインでの参加をもって、参加者は当該ビデオ録画の使用または配布に関連して生じる、あらゆる請求、要求、権利、主

張、損害、および責任（プライバシーの侵害、肖像の使用、名誉毀損などに関する請求を含むがこれらに限られない）について、Toastmasters International を免責するものとします。

7. コンテスト中に、出場者の音声・映像、またはその両方が著しく乱れたり、完全に失われたりする技術的トラブルが発生した場合：

A. 審査員長とコンテスト委員長が協議のうえ、コンテストを一時停止するかどうかを判断します。

1. コンテストが一時停止された場合、影響を受けた出場者には、コンテストへの安定した接続を再確立するために最大10分間が与えられます。

a) 出場者が10分以内に安定した接続を再確立できた場合、コンテスト委員長は最後に聞こえた単語または文を伝え、出場者はその箇所からスピーチを再開します。ただし、追加の時間は与えられません。

b) 出場者が10分以内に安定した接続を再確立できなかった場合、コンテストは次の出場者へと進みます。

8. 投票審査員が技術的トラブルにより出場者のスピーチを十分に聞き取れない、または視認できない状況になり、審査業務を遂行できない場合は、直ちに審査員長に報告しなければなりません。その投票用紙はコンテストの最終結果に含まれません。

A. 技術的トラブルが発生した場合に備え、予備の審査員をコンテスト開始前に任命しておくことができます。予備の審査員が任命された場合、コンテスト全体を通じて審査を行わなければなりません、その投票用紙は、正規の審査員が役割を遂行できなかった場合にのみ使用されます。

9. 計時係が技術的トラブルにより出場者のスピーチを十分に聞き取れない、または視認できず、計時業務を遂行できない場合は、直ちに審査員長に報告しなければなりません。

A. 予備の計時係はすべてのスピーチの計時を行わなければなりません、その時間記録用紙が参照されるのは、正規の計時係が時間記録用紙の記入を途中で遂行できなくなった時点からに限られます。

B. 予備の計時係が1名の場合、正規の計時係がシグナル機器の操作を遂行できなくなった場合に備え、シグナル機器の操作も行えるよう準備しておかなければなりません。

10. 十分な数のコンテスト参加者が技術的トラブルを経験し、コンテストの継続が困難となった場合、審査員長とコンテスト委員長が協議のうえ、コンテストを一時停止するかどうかを判断します。コンテストが一時停止された場合は、1時間以内に再開しなければならず、再開できない場合は残りのコンテストを別の日時に再スケジュールしなければなりません。

A. 審査員長および／またはコンテスト委員長は、すべてのコンテスト参加者に対して、その決定を速やかに伝えなければなりません。

1. コンテストが一時停止され、1時間以内に再開できる場合、中断時に出場者がスピーチの途中だった場合は、コンテスト委員長が最後に聞こえた単語または文を伝え、出場者はその箇所からスピーチを再開します。ただし、追加の時間は与えられません。

2. コンテストが延期されて実施される場合、スピーチを行うのは、まだ発表していない出場者に限ります。中断が発生した時点で出場者がスピーチの途中であった場合、再実施されるコンテストではスピーチの最初からやり直すことができます。コンテスト役員は、審査用ガイドおよび投票用紙、

時間記録用紙などの記入途中のすべての書類を、再実施されるコンテストまで保管するために審査員長へ提出しなければなりません。

11. 外部の投票システムの使用は禁止されています。

スピーチ コンテスト チェックリスト

スピーチ コンテストは周到に計画し、プロフェッショナルに実施する必要があります。各チェックリストの使用は必須ではありませんが、強くお勧めします。

コンテスト委員長用チェックリスト

コンテスト委員長として、あなたは以下を行わなければなりません：

- ▶ コンテストの予算を策定すること。
- ▶ 会場、オンライン会議プラットフォーム、および／またはオーディオビジュアル機器の手配を行うこと（選択されたコンテスト形式の規則に従うものとする）。
- ▶ コンテスト前後の広報活動を実施すること。
- ▶ イベントに関するすべての請求書が速やかに支払われるよう手配すること。
- ▶ 各スピーカーが出場資格を満たしており、コンテスト規則を理解していることを確認すること。
- ▶ 自身が手配を担当するオーディオビジュアル機器が正常に作動することを確認すること。
- ▶ 審査員長、投票審査員、計時係および集計係に対して、それぞれの職務に関するブリーフィングを実施すること。
- ▶ 投票用紙が慎重に集計されることを確認すること
- ▶ 受賞者が誇りに思えるような表彰式において、入賞者に賞が授与されることを確認すること。

各作業を手助けしてくれる委員会を設置した場合でも、作業の完了を確認するコンテスト委員長にあります。

準備

1. コンテストの予算を決定しますが、コンテストの収支が均衡するように配慮します。賞品、コンテスト資料、デポジット、食事、印刷、郵送、会場またはオンライン会議プラットフォーム（該当する場合）などの経費を予算に含めること。

注：コンテストに参加費がある場合、出場者はその支払いを免除されます。すなわち、出場者に参加費は請求できません。

2. スピーチ コンテストの会場と日時を選び、その選択をしかるべき Toastmasters 役員と調整します。
3. コンテストのスケジュールを決めます。
4. コンテストに必要な資材とサービスを手配します。
5. すべてのコンテスト出場者に対して、国際本部から参加証明書を注文またはダウンロードすること。
6. 入賞者に対して、トロフィーを注文し、または国際本部から表彰状を注文またはダウンロードすること。

注：スピーチコンテストの賞品に、Toastmasters のロゴ、または「Toastmasters」「Toastmasters International」の文字を、国際本部以外で購入したものに使用することは、商標権の侵害となります。

7. Toastmasters Internationalスピーチ コンテスト資料

は、www.toastmasters.orgから無料でダウンロードできます。

- ▶ Speaker's Certification of Eligibility and Originality (スピーカーの適格性及び独創性証明書：英語のみ) (アイテム 1183)
- ▶ Speech Contest Time Record Sheet and Instruction for Timers (スピーチコンテスト計時記録用紙と計時係への指示事項：英語のみ) (アイテム 1175)
- ▶ 審査員用手引きおよび投票用紙
- ▶ Judge's Certification of Eligibility and Code of Ethics (審査員の資格証明書および倫理規定：英語のみ) (アイテム 1170)
- ▶ Counter's Tally Sheet (集計係用集計用紙：英語のみ) (アイテム 1176)
- ▶ Tiebreaking Judge and Ballot (同点決着審査員とその投票用紙)
- ▶ Speech Contestant Profile (アイテム 1189、英語版のみ)
- ▶ スピーチコンテスト用証明書
- ▶ 結果用紙 (アイテム1168)

8. 審査員長を選びます。審査員長の出場資格要件については、本規則集の「出場資格」セクションを参照してください。コンテストを一時停止する必要が生じた場合に備え、審査員長と連絡を取る手段または非公開の合図方法をあらかじめ決定しておくこと。

9. 会場係 (Sergeant at Arms)、テストスピーカー、その他必要な役割など、コンテストに必要な補助役職を任命すること。

A. サポートの役割を担う会員と会い、各自の責任について説明します。

10. コンテストおよびコンテスト事前ブリーフィングの時間と場所をコンテスト関係者に通知します。(クラブコンテストの場合は2週間など、時間には余裕をもたせます)。

11. コンテスト開催の2～6週間前に、コンテストおよびコンテスト前の説明会の時間と場所を出場者に通知します。その際、各出場者には情報/パケットを提供します。パケットの内容：

- ▶ スピーチコンテスト規則集 (アイテム1171)
- ▶ Speech Contestant Profile (アイテム 1189、英語版のみ)
- ▶ Speaker's Certification of Eligibility and Originality (スピーカーの適格性及び独創性証明書：英語のみ) (アイテム 1183)
- ▶ (オンラインスピーチコンテストを実施する場合は) 使用するオンラインプラットフォームに関連する必要なトレーニング資料。

12. メディアにニュースリリースを送ってコミュニティのコンテストのプロモーションを行います。

◆ 13. コンテスト開始前に、各出場者がコンテスト規則に基づく出場資格を満たしていることを確認すること。コンテスト委員長は、出場資格に基づいて出場者を失格にできます。出場者が出場資格を満たしていない場合は、コンテスト開始前に失格を通知すること。出場者の出場資格の確認方法：

- ▶ 会員資格を確認すること：クラブ役員およびディストリクト役員は、toastmasters.org の Leadership Central にある「Eligibility Assistant (出場資格アシスタント)」を使用して、出場者が会費を支払

っているクラブの会員であるか、または現任の地区役員であることを確認することができる。

- ▶ 教育要件を確認すること：出場者が国際スピーチコンテストに出場する場合、Pathways のいずれかのパスでレベル1およびレベル2を修了しているか、またはディスティングイッシュド・トーストマスター（DTM）を達成していることを確認すること。speechcontests@toastmasters.org 宛にメールで、国際本部のスピーチコンテストチームへ連絡すること。

出場者ブリーフィング

1. 全出場者の出席とそれぞれの氏名の発音を確認します。

注：コンテスト中には、すべての投票用紙が回収された後に、各出場者への簡単なインタビューを実施する。

2. 出場者と一緒にスピーチ コンテスト規則を確認します。
3. 「Speaker's Certification of Eligibility and Originality（スピーカーの適格性及び独創性証明書：英語のみ）」（アイテム 1183）を確認します。出場者に対し、この書類に署名することで、出場資格およびスピーチの独自性に関する規則を読み、理解したことを証明するものであることを念押しすること。
4. スピーカーと一緒に計時規定を確認します。
5. 出場者に正確なスピーキングエリアを周知させること。
 - ▶ 国際、論評、ユーモア、テーブルトピックス、およびツールテールズの各コンテストでは、これには演壇、テーブル、照明、マイクなどが含まれる場合がある。全出場者には、コンテスト開催前にマイクをテストする機会が与えられなくてはなりません。
 - ▶ オンラインスピーチコンテストにおいては、コンテスト委員長が各出場者と協力し、音声および映像の確認を行い、出場者の環境における制限を踏まえて標準的なスピーキングエリアを設定する。
6. 規則に従って、スピーキングポジションを決定すること。
7. オンラインスピーチコンテストを実施する場合は、すべての出場者がコンテストに必要なオンラインプラットフォームの使用に慣れていることを確認すること。

コンテスト開催中

1. 簡単な説明をしてコンテストを開会します。聴衆に以下の事項を伝えます。
 - ▶ 規則を審査員長と出場者が確認済みであること。
 - ▶ 出場者には 計時信号の位置を説明済みであること。
 - ▶ スピーチ中の写真撮影は禁止であること。
 - ▶ スピーチのトピックは、各出場者が自ら選択したものであること。スピーチによっては、内容が個人的な性質のもので、一部の聴衆の気に障る言葉、考えや信条が含まれている可能性があります。
 - ▶ オンラインスピーチコンテストを実施する場合、書面で掲示されていない場合は、コンテスト冒頭でオンラインスピーチコンテストステートメントを読み上げること。
2. 各コンテスト出場者を紹介します。スピーカーやテーマに関する前置きをした後、スピーカーのクラブの名前や所在地、または住所を話題に出さないでくだ

さい。各出場者をゆっくりはっきりと紹介します。規則に記載されているとおり、オーディオビジュアル機器が正常に作動することを確認すること。

- 3.スピーチの完了時、投票審査員および同点決着審査員に投票用紙を記入するよう伝えます。その際、集計係は投票審査員の投票用紙を回収し、審査員長は集計係から時間記録用紙を回収し確認するとともに、同点決着審査員から投票用紙を回収します。すべての投票用紙と時間記録用紙を回収したら、審査員長と投票用紙集計係は投票用紙集計室に入ります。

- ▶ すべての投票用紙、集計係集計用紙、および時間記録用紙は、機密情報として取り扱われる。
- ▶ 審査員長は、すべてのコンテスト書類が適切に処分されることを確認する。
- ▶ 優勝者または次点者が次のレベルに出場できない場合に備え、全出場者の順位を示すリストを保管します。

- 4.投票用紙集計係が投票用紙の集計中、コンテスト委員長は各スピーカーにインタビューします。

- ▶ コンテストスピーチが終わり結果が集計されている間に、もう一度出場者を紹介し、それぞれが代表するクラブ、エリア、およびディビジョンを示し、出場証明書を授与します。その際、出場者の自己紹介用紙をガイドとして使用し、短いインタビューを実施するのも良いでしょう。

- 5.インタビューが完了したら、審査員長からコンテスト結果を回収します。

- ◆ 6.抗議があれば対処します。抗議ができるのは投票審査員および出場者に限定されます。審査員長、コンテスト委員長、投票審査員、および出場者は、聴衆から出る可能性のある抗議を考慮してはいけません。抗議がある場合は、コンテストが終了する前に審査員長および/またはコンテスト委員長に申し立てる必要があります。審査員長は、コンテスト終了の宣言がなされる前に、すべての異議申し立てに対応します。

- ◆ 7.結果を発表する前に、コンテスト委員長は時間超過による失格が起こったかどうかを発表する必要があります。ただし、時間超過失格に該当する出場者の氏名は発表しません。独自性の欠如、他の出場者またはそのスピーチへの言及、あるいは世界スピーチコンテスト決勝においてまったく新しく異なるスピーチを披露しなかったことによる失格は、公表されません。

- 8.閉会に際し、すべてのコンテスト運営協力者に謝辞を述べます。

コンテスト開催後

- 1.審査員長が Notification of Contest Winner (アイテム 1182、英語版のみ) に記入できるよう、全出場者の連絡先情報を審査員長に提供します。審査員長がこの用紙を次のレベルのコンテスト審査員長またはディストリクトレベルの国際スピーチコンテストの場合は、世界本部に提供したことを確認します。
- 2.ニュースリリース（および写真がある場合はそれも添えて）を各勝者のコミュニティ新聞と会社の広報部に向けて送ります（該当する場合）。
- 3.コンテストに関するすべての請求が速やかに支払われたことを確認します。

審査員長用チェックリスト

コンテスト開催前

- 1.1. 投票審査員、集計係、計時係、および秘密の同点決着審査員（1名）を指名して協議します。
2. 集計係長としての役割を果たし、各集計係に Counters' Tally Sheet（アイテム 1176、英語版のみ）を配布します。
3. すべてのスピーチコンテストの役員に対し、Toastmastersの公式サイト（toastmasters.org/resources/speech-contests）に掲載されているオンラインスピーチコンテストトレーニングの視聴を促してください。
4. 投票審査員、集計係、計時係に対して、審査員向けブリーフィングを実施してください。
 - ▶ 国際、論評、ユーモア、テーブルトピックス、およびトールテールズの各コンテストでは、審査員向けブリーフィングは、審査員長の裁量により対面またはオンラインで実施することができる。オンラインのブリーフィングは、スケジュール調整、および十分な説明を行う観点から認められています。
 - ▶ オンラインスピーチコンテストでは、審査員向けブリーフィングをオンラインで実施しなければならない。
5. コンテストを一時停止する必要がある場合に備えて、コンテスト委員長と連絡を取る手段または非公開の合図方法を決定しておくこと。

審査員向けブリーフィング チェックリスト

1. 各投票審査員に以下の資料を配布します。
 - ▶ スピーチ順の出場者リスト
 - ▶ 審査員用手引きおよび投票用紙
 - ▶ スピーチコンテスト規則集（アイテム1171）
 - ▶ Judge's Certification of Eligibility and Code of Ethics（審査員の資格証明書および倫理規定：英語のみ）（アイテム 1170）
 - ▶ （オンラインスピーチコンテストを実施する場合は）使用するオンラインプラットフォームに関連する必要なトレーニング資料。
2. 予期せぬ問題を軽減・対処するための手順および対応方法について、すべての審査員に指示すること。
 - ▶ 国際、論評、ユーモア、テーブルトピックス、およびほら話コンテストにおいては、外的な妨害や技術システムの不具合が発生した場合に備え、すべての審査員にコンテスト会場の近くに着席するよう指示すること。
 - ▶ オンラインスピーチコンテストにおいて、審査員が中断されることなく、安定かつ安全なインターネット接続を確保できる場所でコンテストを視聴するようにすること。技術的トラブルへの対応方法について、審査員に説明すること。
3. 審査員用手引きおよび投票用紙とスピーキング エリアを確認します。
4. 投票用紙集計係に、「Counter's Tally Sheet（集計係用集計用紙：英語のみ）」（アイテム1176）の使い方を簡単に説明します。

- 5.計時係と一緒に「Speech Contest Time Record Sheet and Instruction for Timers（スピーチ コンテスト計時記録用紙と計時係への指示事項：英語版のみ）」（アイテム 1175）を確認します。
- 6.計時係にストップウォッチを提供します。
- 7.必要に応じて、計時装置の適切な使い方を計時係に簡単に説明します。
- 8.オンラインスピーチコンテストを実施する場合は、すべてのコンテスト役員が当該コンテストに必要なオンラインプラットフォームの使用に慣れていることを確認すること。

コンテスト開催中

- 1.計時係から「Speech Contest Time Record Sheet and Instruction for Timers（スピーチコンテスト計時記録用紙と計時係への指示事項：英語のみ）」（アイテム 1175）を回収します。
- 2.同点決着審査員から審査員用引きおよび投票用紙を回収します。
- ◆ 3.発生した抗議には対応すること。抗議ができるのは投票審査員および出場者に限定されます。審査員長、コンテスト委員長、投票審査員、および出場者は、聴衆から出る可能性のある抗議を考慮してはいけません。抗議がある場合は、コンテストが終了する前に審査員長および/またはコンテスト委員長に申し立てる必要があります。独創性または別の出場者のスピーチへの言及を理由に失格となる前に、出場者には投票審査員に対して応答する機会が与えられなければなりません。失格の決定は、投票審査員の多数決をもってなされるものとします。すべての抗議は、コンテストの終了が宣言される前に解決されなければなりません。
- 4.集計作業を監督します。正確を期すため、すべての投票用紙が2回集計されていることを確認します。

◆ コンテスト開催後

- 1.「コンテスト勝者通知用紙（アイテム182）」を記入の上、次のレベルのコンテスト委員長、または国際スピーチコンテストのディストリクトレベルコンテストにおいては国際本部に提出してください。
- 2.すべてのコンテスト用紙は、完全な機密性が保たれる方法で処分すること。
- 3.出場者と抗議または失格（資格要件を除く）に関する詳細を話し合ってはならない。抗議への回答を求められた出場者に対しては、その結果を通知してはならない。

出場者用チェックリスト

コンテスト開催前

- 1.国際、ユーモア、およびほら話コンテストの場合、トピックを選んで相当程度独創的な自分のスピーチを準備します。オンラインスピーチコンテストの場合は、自身の映像および音声機器を準備し、動作確認を行うこと。
- 2.出場者ブリーフィングに出席すること。
- 3.使用を予定している小道具がある場合は、コンテスト委員長に事前に連絡すること。

4. 「Speaker's Certification of Eligibility and Originality（スピーカーの適格性及び独創性証明書：英語のみ）」（アイテム 1183）を確認します。この用紙に署名すると、出場資格と独創性に関する規則を読んで理解したことの証明になります。
5. リハーサルに出席し、スピーキングエリアを確認しておくこと。

コンテスト開催中

1. 出場者紹介を受ける直前の1分間の沈黙時間中に、すべての小道具と視覚器材をセットアップします。この作業を手助けしてくれるスタッフを登録できますが、その任命はコンテスト員長またはその他のコンテスト委員長の責任ではありません。
2. 紹介が終わったら、ただちにスピーキングエリアに進み、「コンテスト委員長、ありがとうございます」と言ってください。コンテスト委員長が「どういたしまして」と応答したら、スピーチを開始してください。
3. スピーチ中は計時シグナルを定期的に確認します。赤のシグナルを確認したら、スピーチをまだ終了していない場合でも素早くまとめたい終了します。
4. スピーチの直後、小道具または視覚器材をスピーキング エリアから撤去します。この作業を手助けしてくれるスタッフを登録できますが、その任命はコンテスト委員長またはその他のコンテスト役員の責任ではありません。

スピーチコンテスト資料

スピーチコンテストの資料は、toastmasters.org/Speech-Contest-Kits から無料のデジタルコンテンツとしてダウンロードできます。

全コンテスト用

役割	項目	アイテム番号
全参加者	スピーチコンテスト規則集	(アイテム 1171)
審査員長	コンテスト入賞者通知書	(アイテム 1182)
	結果用紙	(アイテム 1168)
投票審査員および同点決着審査員	Judge's Certification of Eligibility and Code of Ethics (審査員の資格および倫理規定に関する証明書：英語のみ)	(アイテム 1170)
集計係	集計用紙	(アイテム 1176)
計時係	スピーチコンテスト計時記録用紙および計時係の手引き	(アイテム 1175)
出場者	スピーカー出場資格および独自性の証明書	(アイテム 1183)
	スピーチコンテスト出場者プロフィール	(アイテム 1189)

国際スピーチ コンテスト

役割	項目	アイテム番号
投票審査員	国際スピーチ コンテスト 審査員用手引きおよび投票用紙	(アイテム 1172)
同点決着審査員	国際スピーチ コンテスト Tiebreaking Judge and Ballot (同点決着審査員とその投票用紙)	(アイテム 1188)
出場者	Region Quarterfinals Video Release Form (準々決勝の動画リリース用紙：英語のみ)	(アイテム 1193)

論評コンテスト

役割	項目	アイテム番号
投票審査員	論評コンテスト 審査員ガイドおよび投票用紙	(アイテム 1179)
同点決着審査員	論評コンテスト 同点決着審査員ガイドおよび投票用紙	(アイテム 1179A)
出場者	論評コンテスト出場者用メモ用紙	(アイテム 1177)

ユーモアスピーチ コンテスト

役割	項目	アイテム番号
投票審査員	Humorous Speech Contest Judge's Guide and Ballot (ユーモアスピーチコンテスト審査員用引きと投票用紙：英語のみ)	(アイテム 1191)
同点決着審査員	Humorous Speech Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (ユーモアスピーチコンテスト同点決着審査委員用引きと投票用紙：英語のみ)	(アイテム 1191A)

テーブルトピックスコンテスト

役割	項目	アイテム番号
投票審査員	Table Topics Contest Judge's Guide and Ballot	(アイテム 1180)
同点決着審査員	Table Topics Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (テーブルトピックスコンテスト同点決着審査委員用引きと投票用紙：英語のみ)	(アイテム 1180A)

ほら話コンテスト

役割	項目	アイテム番号
投票審査員	Tall Tales Contest Judge's Guide and Ballot	(アイテム 1181)
同点決着審査員	Tall Tales Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot	(アイテム 1181A)

オンラインスピーチコンテスト

役割	項目	アイテム番号
投票審査員	オンラインスピーチコンテスト審査員用ガイドおよび投票用紙	(アイテム 1189A)
同点決着審査員	オンラインスピーチコンテスト同点決勝審査員用ガイドおよび投票用紙	(アイテム 1189B)

追加リソース

スピーチコンテストFAQ

toastmasters.org/SpeechContestFAQ

スピーチコンテストチュートリアル

toastmasters.org/resources/speech-contests

ポリシー6.0 : スピーチコンテスト

toastmasters.org/SpeechContestGoverningDocuments

オンラインスピーチコンテスト実施のベストプラクティス

toastmasters.org/OnlineSpeechContestBestPractices

